



あたら ほん しょうかい  
**新しい本の紹介です!**



**「カサコノのかくれんぼ」**

ザ・キャビンカンパニー ぶん・え

ゴキブリのカサコノは、やまださんちのやねうらにすんでいます。そこは、やまださんのたいせつなものがあるばしょ。スリッパをかたてに、やまださんがやってくると、カサコノはかくれんぼがはじまったとおもうのですが… みんなもカサコノをみつけてみて!!



**「あんなに あんなに」 ヨシタケシンスケ**

このほんのなかの「あんなに〇〇だったのに、もうこんな…」は、だれもがしたことがある、これからこうなるかも… のあんなこと、こんなことの、ほのぼのせいちょうきろくえほん。



**「かんじるえ」 大谷陽一郎**

この絵本には、文章はありません。字(漢字)だけが書かれているふしぎな絵本?!です。見たひとは「わあー」とか「へえ〜」と、きっとおどろくはず!!



**1、2年生におすすめの本**

**「デイビッド・マックチーバーと29ひきの犬」 マーガレット・ホルト**

おとうさんとおかあさんと あたらしい町にひっこしてきたデイビッド・マックチーバーは、ある日、おかあさんからスーパーマーケットへおつかいをたのまれます。ぶじにかいものをしたかえりみちみちにおにくをおとしたせいで たいへんなことがおこってしまいます。



**「かしこいうさぎのローズバッド」 ルドウィヒ・ペーメルマンズ ぶん・え**

ある日、ローズバッドは1さつのはんをみつけました。そこには、いろいろどうぶつたちのことがかかれていて、うさぎは、“小さくておくびょうなはずかしがりや、びっくりするとすぐにげてかくれる”とかかかれていて… はらをたてたローズバッドは、じぶんのちからをみせつけようと、あることをかんがえつきます。



**3.4年生におすすめの本**

**「オオハシ・キング ぼくのなまいきな鳥」 当原珠樹**

拓真が「ほりだしもの屋」で買った麻袋の中に、ピンクの卵が入っていた。調べてみると、中南米の伝説の鳥『王さま鳥』の卵かも…。ふ化したピンクのくちばしの鳥に、オオハシキング(キンちゃん)と名づけかわいがる。どんどん言葉を覚え、自分の言葉で言いたい放題のキンちゃん。だんだんと世話をするのがおっくうになる拓真と家族。そんな時、開いた窓からキンちゃんが外に飛び出した。動物を飼うということ、動物にとっての幸せとは何かを、拓真といっしょに考えてみては。



**「神様のパッチワーク」 山本悦子**

おれには、お母ちゃんが二人いる。「特別養子縁組」というので、生まれてすぐお父ちゃんとお母ちゃんの子どもになつたらしい。お姉ちゃんもそうだ。クラスのみんなども町のみんなども知っていることだ。知らなかった転校生のあかねは「ママハハ」だとか「フコウナオイタチ」だとか、へんなことばかり言う。あかねの兄ちゃんと同じクラスのお姉ちゃんのようにすも愛だ。そんなある日、お姉ちゃんに事件が起きる。血が繋がってないと家族じゃない? 家族とは何かを考えさせられる物語。



**5.6年生におすすめの本 「迷犬マジック」 山本甲士**

生活にちょっぴり疲れた、年齢も、性別も、職種もさまざまな四人のもとに、ひょっこり現れた…赤い首輪に小さくマジックとかかれた黒柴風の迷い犬。それぞれ困惑しながらも、飼い主をさがして世話をするうちに、日常がじよじよに変化していく。ほっこりハートフルな一冊。



**妖怪コンビニで、「妖怪コンビニで、バイトはじめました。」 令丈ヒロ子**



中二のぼくには、ちょっと変わった能力がある。父さんと二人暮らしから父さんがメイカさんと結婚して、家にいるのが気づまりになっていたぼくは、買い物を口実(こうじつ)に家をでた。そして見つけたコンビニは… 人外(ひつがい) (幽霊、妖怪) 専門のコンビニ! ?で、ひよんなことから、能力を生かしてバイトすることに!!

☆ほかに、「悪魔のパスル」2巻、「怖くて眠れなくなる天文学」、「おしいダンテ・ヤング」、

「いろどい屋」、「子供の科学ミライサイエンス タイムマシン」「マインクラフト 勇気の旅」

などが入りました。 **お楽しみに(\*\_\*)♪**